



「おいしい学校給食」に

伊藤 正勝

問 新しい学校給食センターが4月に始動する。初のPFI事業。鉄骨2階建て。きよみ野北側の水田エリア。15年間の維持管理費を含め62億6800万円の契約だ。この機会に「おいしい給食」の実現をめざしてほしい。残さい率は一つの目安。実状を確認したい。

答 教育部長 給食の食べ残し残さい率は26年度のデータで小学生が9・74%。中学生は10・8%。児童生徒のアンケートでは90%弱が献立に満足との結果が出ている。さらに改善に努めたい。

問 東京都足立区はプロの料理家の協力によるレシピ集など「おいしい給食」に取り組み、小学生の残さい率は3・1%。数値目標を定め、関係者の知恵を集めてほしい。

答 教育部長 4月からの給食費



学校給食センター建設現場見学

値上げについても検討しており、児童生徒の意見の反映など献立の研究を充実、工夫していきたい。

問 主食の米飯は別途岩槻の工場から各学校に納入されている。災害時の炊き出しについては早期に備えが必要だ。

答 教育部長 給食センター側と市の担当者が年明けに協議し協定書を交わすなど必要な体制を整えたい。

住民要望に対応し、更なる水害対策の充実を

互 金次郎

問 9月の台風18号等による大雨では本吉川5区、上河岸、下河岸、下町には避難勧告が出されました。吉川小学校の体育館に4名の方が避難されました。地域の方々からは、避難所は体育館で大丈夫か。防災無線が聞こえにくい。安心して住めるよう堤防の強化・改修が必要だ。との声をいただきました。対策の充実を。

答 市長 情報伝達は、提案の防災ラジオの検討等も含めFM越谷の活用を考えています。吉川小学校の校庭の裏木戸は、作る方向で調整しています。

答 都市建設部長 堤防強化・改修は、当該地区は必要とされる余裕高が不足していますので、吉川橋の改修終了が目安と考えますが、緊急性の高い所からと



台風18号等による大雨被害

答 市民生活部長 浸水地域の現状や要因をとらえ被害軽減の対策に努めます。

◆運転免許自主返納に支援を

問 高齢者による交通事故が多発しています。事故防止の観点から高齢者の運転免許自主返納に支援を。

答 市民生活部長 他市の事例などを参考に調査研究します。

公共交通空白地域の輸送サービス実現を

五十嵐 恵千子

問 市民要望を受け、過去何度も一般質問等にて、公共交通空白地域解消のために、デマンドワゴン・タクシーを提案して

答 市長 28年度以降の路線バス

運行費補助事業を5年間ではなく3年間の契約に区切り、その間、費用対効果を踏まえ、かなり前向きに検討していきます。

◆認知症施策のさらなる推進を

問 当市、認知症高齢者の増加等を考えますと、総合的な取り組みが求められています。

①市民参加で「認知症高齢者徘徊模擬訓練」の実施を。

②市内の空き家や空き店舗を活用し、高齢者が歩いて行ける身近な地域で「オレンジカフェ・サロン」等の更なる拡充を。

③認知症が心配のご本人や家族等がパソコンやスマートフォンで簡単に認知症チェックが出来る「認知症簡易チェックサイト」を導入し、広く市民へ周知を。

答 健康福祉部長 ①平成28年2月に先進地の取り組みを学ぶ講演会の開催を予定。今後、実施について検討していきます。

②空き家や空き店舗の活用も含め、拠点確保の支援を検討する。

③導入に向けて検討しています。

美南地域のまちづくりについて

小野 潔

問 この3年間で人口は3759人、世帯は1424世帯の増となつています。この様に急激な人口増加の美南地域のまちづくりについて①駅前交番設置に向けての進捗状況②防犯灯の今後の設置について③調整池への

街灯設置とイルミネーション化

④美南中央公園駐車場に防犯カメラの設置を⑤食品スーパーの早期出店」を要望し市としてどの様に答えていくのか。

答 市民生活部長 ①吉川警察署と情報交換をし交番設置を働きかけていく。②今年度50基の設置予定で概ね完了となる。

答 都市建設部長 ③市民要望もあり検討した経緯がある。④今後の状況を見定め検討する。⑤早期出店に向けて働きかけていく。

◆ICT（情報通信技術）を活用したウォーキングロードの指定・設置・促進事業を

問 3カ年の県の補助事業として「吉川市毎日1万歩運動」で検証された結果を踏まえ、今後のウォーキング人口の増加策として、三郷市の「すこやかみさとICウォーク」のようなICTを活用したウォーキングロードの指定・設置を考えては。

答 健康福祉部長 ICTの活用も参考とさせて頂きながら、ウォーキングロードの設定について検討していく。

若い世代への投票率向上策は

山崎 勝他

問 若い世代への投票率向上策

答 総務部長 成人式における啓発品の配布など行っている。また、吉川美南高校の生徒による選挙事務従事を実施し、意識の高揚を図っている。

問 高校生への主権者教育は。

答 総務部長 国では主権者教育用の高校生向けの副教材を作成し、27年11月以降、全国の高校に配布しており、これを活用した教育を実施していくとしている。

◆職員の綱紀粛正は

答 市長 職員倫理規程に職員としての自覚や禁止事項を定めている。周知を徹底するとともにさらに公務員倫理の確立を図ってまいりたい。また、職員の意識改革を促す研修を行い、市民対応を最優先に考える意欲のある職員を育成してまいりたい。

◆農業振興策

問 水稲の集落営農の促進を。

答 市民生活部長 農業経営の安定につながる施策であり、地域の実情の把握に努め、国や県の支援制度の情報提供を行うなど組織化に向けた支援を行ってまいりたい。

問 埼玉型ほ場整備事業の進捗状況と今後の拡大は。

答 市民生活部長 約13ヘクタール、事業費は約8800万円、事業面積による累積進捗率は、約53%の見込である。

答えて市長！一般質問

次ページへ続く